

「計量経済学の第一歩：Stataによる回帰分析」

日時：2017年8月29日（火） 10:30～17:00

場所：東京大学（本郷キャンパス）赤門総合研究棟5階・センター会議室（549号室）

料金：一般6,000円、学生3,500円（資料代を含む）

講師：田中隆一（東京大学）

定員：25名

■本コースの内容

計量経済学の入門コースです。計量経済学とは何か、また計量経済学の中心的なツールである回帰分析、因果効果の識別戦略としての操作変数法およびパネル・データ分析の手法について、実例を交えながら解説します。また、演習として実際にStataを用いた回帰分析を行います。『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』（田中隆一著 有斐閣・2015年）を用い、主に第1章、第5章、第6章、第7章、第8章、第9章の内容を解説します。

■次のような方におすすめです

- ・実証分析に興味があり、確率・統計の授業は受講したが、計量経済学の講義はまだ受けたことのない方。
- ・計量経済学の授業を受講したが、自ら実証分析を行ったことはない方。
- ・Stataを使って計量経済分析を行いたい方。

■注意事項

- ・『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』（田中隆一著 有斐閣・2015年）を当日資料として配布します。
- ・基礎的な確率統計についての解説は行いません。講義で用いる確率統計については、上記テキストの第2章、第3章、第4章でも解説していますので、そちらを参照してください。
- ・ノートパソコンをご持参ください。Stataをお持ちでない場合はインストールしますので、インストールが必要な場合には、当日の10:00までに会場にお越しください。演習で用いる教材は、あらかじめ『計量経済学の第一歩：実証分析のススメ』のウェブサポートページ（http://www.yuhikaku.co.jp/static/studia_ws/index.html）よりダウンロードしておいてください。

■本コースの日程

「計量経済学とは」「回帰分析」「操作変数法」「パネル・データ分析」